

KANUMA NO MEISHO

鹿沼の名匠

名匠

のなか
野中

よしき
芳樹



野中 芳樹

両親の背中を見て建具職人になることを志し、市内木工所での修行を経て、父親のもとで技術を磨いてきた野中さん。確かな技術と深い知識を基盤とし、主に、障子や格子戸、襖などの建具の製造、修復を行っています。

31歳の若さで国家資格である建具製作1級技能検定に合格し、1級建具製作技能士となった後も、周囲への感謝を常に忘れず、「ここまで続けてこれたのは両親や兄弟、家族、仲間の職人さんたちのお陰です。良き出会いに恵まれ、自分は幸運だと感じています。」と笑顔で振り返ります。

木材の選定から墨付け、ホゾ加工、組手取り、塗装に至るまで、常に小さなところにも気を配り、一切の妥協を許さず、細心の注意を払って作業を進めます。建具は、建物の機能性や美観に直接影響を与える重要な要素であり、その製造工程において気を抜ける作業は一つもないと言います。

「依頼のなかには、どう作ったらいいかと悩むものもあります。依頼主の思い描くものに近付けるようアイデアを出し、機能性もデザイン性も損なわないよう工夫をして製造した建具に対し、満足いただけることが何よりの喜びです。」

細部にまでこだわるからこそ、成し遂げたときの達成感も大きい、それが、建具製造の魅力です。

「鹿沼は木材の切り出し場が近くにあり、良質な木材や材料がすぐ手に入ります。注文から材料選定、加工に至るまでの一連の工程がこの鹿沼で完結できるためか、鹿沼には腕のいい建具職人さんが多いと感じます。」と野中さん。

伝統的な職人技術を駆使し、現代的なデザインや機能にも対応していく匠の技。今後は、その技術の継承についても考えていきたいと穏やかに語ります。

◆ 木製建具製造

鹿沼市